

# 男子ホッケー 第27回ユニバーシアード競技大会

日付	2013年7月15日 11:15~12:35		
場所	Field Hockey Centre	天候	晴れ
試合	7、8位決定戦	通算結果	日本1勝2分2敗

Country	RESULT		Country
日本 JPN	Full Time	4 - 1	イタリア ITA
	Half Time	2 - 1	

Start	No.	Name	Card
✓	1	井川大地(GK)	
✓	2	膳棚大剛	
✓	3	安部竜之介	
✓	4	落合大将	
✓	5	原田拓郎	
✓	6	西川尚裕	
✓	7	北里謙治	
	8	星卓	
	9	村田和麻	
	10	佐々木蓮	
✓	11	田村真彬	
✓	12	田中世蓮	
✓	13	大家航輝	
10	14	松村洋介	
10	15	河野元秀	
✓	16	落合健太郎	
17	17	松本謙人	
	18	今村滉太(GK)	
監督	寺本祐治		
UMPIRE	SHIN Dong Yoon		

Start	No.	Name	Card
	1	MITROTTA Francesco	
✓	2	ASUNI Lorenzo	45G
✓	3	MUSCELLA Stefano	
40	4	LIXI Luca	
✓	5	DUSSI Simone	70Y
✓	6	ROSSI Telemaco	
✓	7	NUNEZ Agustin	
8	8	CORSI Andrea	
9	9	FLORES Martin	52G・60Y
11	10	FERRINI Giulio	
✓	11	RATTO Diego	
✓	12	FRANCESCONI Enrico	
	13	FERRINI Luca	
✓	14	DUSSI Lorenzo	
✓	15	COLELLA Michele	
20	16	FORANI Matteo	
✓	17	GROSSI Davide	
✓	21	MANES Ignacio	
監督	FERNANDEZ Pablo		
UMPIRE	RYSINSKI Grzegorz		

Country	Min	Name	Action	Score
JPN	5	北里謙治	FG	1-0
JPN	21	北里謙治	FG	2-0
ITA	27	NUNEZ Agustin	FG	2-1
JPN	37	原田拓郎	FG	3-1
JPN	49	落合大将	FG	4-1

Country	Min	Name	Action	Score

日本	24	サークル内侵入	16	韓国
	30	23m侵入	25	

日本	14	シュート数	11	韓国
	7	PC数	5	

## 【戦評】

第27回ユニバーシアード競技大会最終日、日本チームはプール4位で7・8位決定戦をイタリアと対戦することになった。

雲一つない青空の中、日本のセンターパスにより試合が開始された。日本は立ち上がりから積極的なプレーで、イタリアを圧倒していく。前半3分、2度のPCを獲得するがこれは決めきることができない。その2分後、日本は中盤で#5原田がボールをカットすると、スピードに乗ったドリブルでサークルに侵入しシュートを放つ。1度はGKにセーブされてしまうが、そのリバウンドを#7北里がヒットシュートで決め先制する。勢いに乗る日本は、巧みなパスワークから試合を支配していく。21分またしても#7北里がサークル内でボールを受けると、GKの股下を射抜くシュートを放ち2点をリードする。優位に試合を進める日本だが、27分に一瞬の隙をつかれサークル内にボールを通される。するとDFの裏に待ち構えていた#7にゴールを決められ、1点を返されてしまう。その後も日本ペースで試合は続くが得点には至らず2対1で前半を折り返す。

後半に入り依然日本ペースで時間が流れていく。後半開始早々、日本はロングコーナーから#5原田がパスを受けると、GKを嘲笑うかのようなシュートを決め、日本にさらに勢いをもたらす。しかし反撃を見せたいイタリアも、攻めの姿勢を見せ日本陣内にボールを運ぼうと試みるが、日本DFがそれを許さない。49分、日本はイタリアが攻撃へ意識がいき過ぎ、DFラインが高くなっているところを見逃さなかった。#12田中はスクープパスでDF裏へとリードする#4落合大を狙う。するとパスが繋がリGKと1対1となり、落合大が素晴らしいテクニックでGKを交わしゴールを決め、イタリアを突き放す。その後も日本はイタリアゴールを目指す但追加点とはならず、4対1で終了のブザーを迎えることになった。

日本はイタリアに勝利し、第27回ユニバーシアード競技大会を7位という成績で終えた。日本代表は大学生を中心としたチーム構成であり、初めて国際大会を経験する選手がほとんどであった。そんな中、試合を重ねるごとに日本選手団は、勇姿を見せ成長していった。今回の経験から、選手は国内では感じることはできない多くのことを学んだはずである。今後、日の丸を付け日本のホッケー界を背負っていく選手が、今回のユニバーシアード競技大会を経験した若い選手達の中から、多く輩出されることは間違いないであろう。

最終順位は、開催国であるロシアがフランスを破り優勝し、2位フランス、3位ドイツ、4位マレーシア、5位南アフリカ、6位韓国、7位日本、8位イタリア、9位ウクライナ、10位ポーランドとなった。

記載責任者:コーチ 穴井善博  
校閲:監督 寺本祐治